



関 中 学 校 だ よ り

第6号 平成24年10月31日

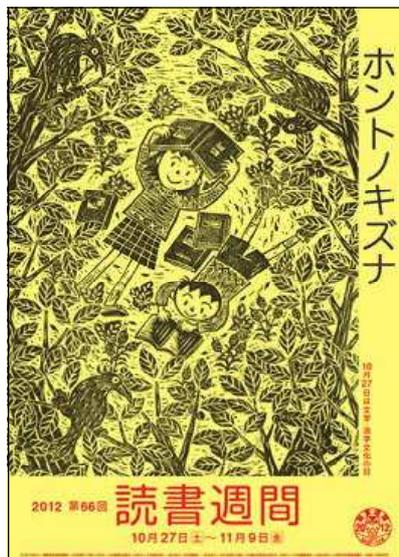
ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

読書の秋

校長 勝亦章行

朝夕もかなり寒くなってきました。生徒の服も冬服となり、本格的な秋の訪れです。最近の嬉しい話題は、ノーベル生理学・医学賞に京都大学の山中伸弥教授が受賞することになったことです。受賞理由は、あらゆる細胞に成長できて再生医療の実現につながる iPS 細胞を作り出したこと。日本人のノーベル受賞者として19人目。世界的な誉れであり、栄誉なことだと思います。

山中教授は、「研究は失敗の連続。辛抱強さと失敗を恐れない気持ちが必要です。iPS 細胞の研究は1000回失敗するつもりで研究しました。」と語っています。そして、若者に対して「失敗すればするほど幸運は来る。若い間に、いっぱい失敗して、挫折してください。」と語っています。



さて、秋は「読書の秋」でもあります。そして、10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）は、読書週間です。今年の読書週間の標語は、「ホントノキズナ」です。読書を通して、「絆（キズナ）を感じる、出会える」という意味だと思います。

関中学校では、今年度から「ハートタイム（朝読書）」を年間を通して全校で行っています。全校で10分間の朝読書。たった10分間と思うかもしれませんが、「たかが10分間、されど10分間」年間を通せばおよそ30時間になります。「ハートタイム」には原則があります。「好きな本を、みんなで、毎日10分間読む」ことです。

「読書」は、次のような効果があると考えます。

- ◎『読解力が身に付く』
学習の基礎基本は、昔から「読み・書き・計算」と言われています。読む力は、学習の基礎の基礎です。活字離れが進んでいる今日、読書をする事で、読解力が身に付きます。
- ◎『新たな知識を得ることができる』
今日、情報はテレビ、インターネット等から得ることは容易にできる時代になっています。しかし、読書は、自分の意思で調べ、読み、理解する過程があり、得難い知識を得ることができます。
- ◎『思考力が身に付く』
読書を通して、その内容を思考反芻、すなわち繰り返し考えたり、自分の立場に当てはめて想像するなど、思考力が身に付きます。
- ◎『読書は、人間性を豊にします』
歴史的事実を通して、偉人の伝記を通して、様々な考えや意見を知ることができます。読書は、その人の人間性を高めることに役立ちます。
- ◎朝読書を行うことは、一日のはじめに落ち着きをもたらせます。全校一斉で行うことは、学校全体の落ち着きさにもつながると思います。

ハートタイム（朝読書）もかなり定着してきました。生徒がさらにに読書好きになることを願っています。

10月・11月 行事予定

日	曜	予定
2	火	学校公開週間始
4	木	連合音楽会
5	金	3年第2回進路説明会、学校公開週間終
8	月	体育の日（祭日）
9	火	合唱コンクラス練習始、生徒各種委
12	金	第2回英語検定
13	土	1学期終業式、成績相談
15	月	2学期始業式、成績相談
19	金	第2回漢字検定
20	土	英語学芸会
24	水	合唱コンクール
25	木	3年進路面談始
27	土	関地区祭
11月		
2	金	情報モラル講習会 マラソン大会事前健康相談、3年進路相談終
3	土	文化の日（祭日）
6	火	SC来校
7	水	中間考査（英語・理科・美術） 区中研修会
8	木	中間考査（数学・国語・社会・音楽）
9	金	生徒会各種委員会、心の相談員来校
10	土	第二土曜授業 2年ユニセフ出前授業
12	月	新時間割始 生徒会中央委員会
13	火	SC来校
14	水	職員会議
15	木	マラソン大会（航空公園にて）
19	月	生徒朝礼
20	火	生徒総会
21	水	校内研修会
26	月	朝礼
27	火	小中一貫教育フォーラム
28	水	1年貧血検査
29	木	2年校外学習

★関中学校の読書環境



関中学校では、昨年度より学校図書館管理員（神崎さん）が配属されています。

また、PTA図書ボランティアの方、18人が活動しています。（左の写真）

図書館の整備が進み、素晴らしい読書環境を作り出しています。関中の図書館は、原則、昼休み、放課後、開館しています。また、授業でも図書館を活用しています。

生徒会図書委員会でも「図書委員のすすめ本」を図書館前の廊下に掲示するなどの活動を行っています。（左下の写真）

ハートタイム（朝読書）は、通年で、8時25分～35分の10分間、各教室で行われています。（下の写真）



★生徒会役員選挙（9月28日）が行われ、新生徒会役員が決定しました。

生徒会役員選挙の投票が、9月28日の朝、体育館で行われました。7人の定員に対して、11人が立候補。例年になく激戦となりました。

選挙の結果、新生徒会役員が決まりました。関中学校がさらによりよい学校になるよう、頑張してほしいと思います。

会長	2年	松下	副会長	2年	青木
副会長	2年	吉川	役員	2年	井上
役員	2年	井上	役員	1年	林
役員	1年	川畑			



★学校公開週間（10月2日～5日 4日間）234人が来校



学校公開週間中に、保護者222人、地域の方12人が来校していただきました。ありがとうございました。

また、学校公開週間の初日の10月2日（火）5校時に、区教委主催の「理科教育指導力向上研修会」が開催され、林教諭が1年E組で、研究授業（身のまわりの物質）を行いました。（左写真）

関中学校では、今年度、新学習指導要領全面実施を受けて、校内研修会テーマを「言語活動の充実を図り、思考力・判断力・発表力を高める指導法の工夫」として、研修を進めています。9月26日には、大学教授を招いての講演会を実施。11月21日には、研究授業（英語）と研究協議会を行う予定です。

★第49回 英語学芸会に本校 英語部が参加（10月20日）

第49回 練馬区中学校英語学芸会が10月20日(土)に生涯学習センターで開催されました。区内中学校12校が参加。

関中学校では、英語部が劇「The Friendship between Pigs and Wolves」を上演しました。(右写真)

大道具や小道具に工夫をし、表現豊かに、そして元気のにびのびと演技しました。



隣のアスク関町北保育園が、10月14日(日)、関中の体育館で運動会を実施。

オープニングでウィンドアンサンブル部が演奏をしました。

★合唱コンクール（10月24日 練馬文化センター）



伝統ある関中学校の合唱コンクールが、10月24日(水)練馬文化センターで開催されました。各学年の発表。PTA合唱、1年選抜合唱(写真)、2・3年有志による合唱が行われました。特に3年生の合唱はどのクラスも素晴らしく、全てのクラスに金賞を授与したいと思うほどの合唱でした。

特別審査員に、昨年度に引き続き、塚田先生をお招きしました。保護者の方が、1年163人、2年133人、3年177人の計473人が来ていただきました。ありがとうございました。

学年	課題曲	自由曲				
		A組	B組	C組	D組	E組
1年	夜汽車	道	COSMOS	怪獣のバラード	絆	大切なもの
2年	思い出は空に	時をこえて	ここにいる幸せ	心の瞳	My Own Road ～僕が創る明日～	明日という日
3年	大地讃頌	手紙 ～拝啓十五の君へ～	あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～	IN TERRA PAX ～地に平和を～	信じる	ヒカリ

1年	Gold 金賞 C組	銀賞 D組	2年	Gold 金賞 B組	銀賞 D組	3年	Gold 金賞 D組	銀賞 C組
----	---------------	----------	----	---------------	----------	----	---------------	----------

★関地区祭でウインドアンサンブル部が演奏（10月27日）



10月27日（土）関地区祭でウインドアンサンブル部が地域の皆さまの前で演奏をしました。休憩も入れて1時間半の演奏でした。演奏した曲は、「ジャパニーズグラフィティ」「童謡メドレー」「上を向いて歩こう」「センチリア」「歌劇ラ・ボエームより」「Don't Stop Me Now」「北酒場・勝手にしやがれ」「明日があるさ」「川の流れのように」「ギンガム チェック」「ワイルド アット ハート」「インザムード」「風が吹いている」3年生としては、受験への取り組みがあるため、地域での演奏は最後の関地区祭での演奏。観客から盛大な拍手をもらいました。

ウインドアンサンブル部は、関地区祭以外に、9月30日にやすらぎの杜秋祭り、10月4日に連合音楽会、10月14日にアスク関町北保育園運動会・第二光陽苑秋祭り等で演奏をしました。

★都教委主催「いじめ防止のためのシンポジウム」に参加して（9月29日）



東京都教育委員会は、9月29日に東京都庁議会棟の都民ホールで「いじめ防止のためのシンポジウム」を開催しました。

シンポジウムは、1部で公立中高生4人といじめで不登校で高校を中退、定時制高校に移った経験のある男性と司会者でのシンポジウム（左写真）でした。その中で、いじめを受けた男性から

自分の経験から「いじめの芽」は、どこにでもある。
加害者（やっている側）は、いじめている自覚がなく、「いじめ」と「からかい」の境が分からないのではないかと指摘。

参加した公立中高生からは、「親や先生は、子どもが何でも話せるように向き合ってほしい」「大人はいじめられている生徒の話も、いじめている生徒の話も、親身になって聞いてほしい」「食事時など一日一度でもいいから、親子でコミュニケーションを図ることが大事だ」といった意見が出されました。

2部では、学校、心理士、PTA、警察の代表と司会者がシンポジウムを行いました。私は、学校関係者の代表として、夏休み前のいじめ緊急調査で、都内小中学校でいじめやいじめの疑いがある件数が11507件にもものぼる結果から分かるように、「いじめは、どの学校でも、どの学級でも、どの生徒にも起こりうるもの」との認識をしっかりと持たなければならないと強調しました。

社会問題になっているいじめ問題。11月は都内全学校で「いじめ一掃月間」と位置づけ、様々な取組を行います。関中学校でも、標語の作成・アンケート・校長講話・教育相談期間等を行う予定です。

★安心安全ボランティア（校内パトロール）にご協力を

小学校への不審者侵入を受けて、門扉は、生徒の安全確保のため「開いたら閉めて下さい」

また、安心安全ボランティアにご協力をお願いします。ご協力いただける保護者の方は、PTA室の壁面の表にご記入下さい。やり方等も掲示してあります。 問合せ先：副校長 電話：3929-0048